

アルパこまくさ完成 5月31日に開館式

田沢湖高原に「アルパこまくさ」が完成し、5月31日に現地で開館式が行われました。

この「アルパこまくさ」は、環境省のふれあいやすらぎ温泉地整備事業を活用し、平成15年より施設整備を進めてきた、自然ふれあい温泉館（仙北市）、駒ヶ岳情報センター（秋田県）、駒ヶ岳火山防災ステーション（国）が合わさった複合施設です。施設は山小屋風の本造平屋造り、面積1,350平方メートル、総事業費は約7億8,000万円となっています。



関係者と命名者の三浦恵子さんが
テープカットをして開館を祝う

開館式では、石黒直次市長が「防災・情報・保養機能としてのみならず、高原地域の観光拠点施設として地域の活性化と観光振興に貢献されるものと期待する」と式辞が述べられました。また、愛称である「アルパこまくさ」を命名した、三浦恵子さんに感謝状が授与されました。最後に関係者によるテープカット、くす玉開披をして開館を祝いました。

アルパこまくさは、植生保護を目的に実施している、マイカー乗り入れ規制に対応する駒ヶ岳へのバスの乗り換え拠点となっているほか、駒ヶ岳山麓にあるライブカメラの映像、タッチパネルによる登山ルートや高山植物などの検索システム、イヌワシの生態映像がご覧いただけます。

アルパこまくさは、「山という意味の『アルペン』と、温泉の『スパ』の造語で、可憐なこまくさをはじめ、高山植物の数々が咲き乱れる駒ヶ岳の豊かな自然がいつまでも身近に感じられる施設であって欲しい」という願いを込めて、命名されたそうです。

夏山シーズン到来 駒ヶ岳山開き



例年より多く残る雪を踏みしめて登っています

6月1日、駒ヶ岳山開きが開催され、市の観光関係者や一般登山者など約100人が参加しました。

当日は、八合目で今年の山の安全を祈願して神事を行い、続いてテープカット後に記念登山へ出発しました。濃い霧と時折り強風が吹きつけるあいにくの天候でしたが、参加者は咲きはじめた高山植物を楽しみながら山頂を目指しました。

山頂では、岩手県側から登ってきた雫石町の皆さんと合流し、恒例のピッケル交換を行い万歳三唱で夏山シーズンの到来を喜び合いました。



雫石町の皆さんと万歳三唱する登山参加者